

グリフィンス4戦目は、ルーツボウルの2戦目 強豪、早稲田大学との対戦

SPRING GAME 4th 2024年6月9日(日)K.O15:00 アミノバイタルフィールド 天候:曇					
チーム名	1Q	2Q	3Q	4Q	TOTAL
 早稲田大学BIGBEARS	0	7	6	7	20
 明治大学 GRIFFINS	10	3	0	6	19

1Q

明治のキックオフで試合開始。  
早稲田先発QBは3年 #15船橋シュートパスで前進を許すも、DL陣のハードタックルでファンブルを誘い  
ハーフウェイ付近でリカバー。攻撃権を奪う！

明治先発QBは#13水木(3年生)。

今年初めて先発を任されるが最初のプレーで目の覚めるようなミドルパスを#11加藤(4年生)にヒットさせる！  
敵陣に入ると#25井上(4年生)のランで更に前進し  
#4近藤(4年生)の28ヤードのフィールドゴールで  
明治が先制する。 3-0。

次の早稲田攻撃も LB#40松田(4年生)のハードタックルから  
連続してファンブルリカバーに成功。

明治2シリーズ目は、残り45ヤードから#87佐藤(3年生)へのロングパスを落ち着いて通し、#25井上(4年生)のラン。  
そしてエース#34廣長(4年生)の14ヤードのランでタッチダウン。  
わずか3プレーで得点し、10-0とする。





2Q

早稲田攻撃に前進を許さずパントに追い込むと  
 自陣22ヤードからの明治攻撃では#13水木(3年生)  
 からのパスが連続でヒットする。

細かいミスがあったものの、#19五十嵐(3年生)への  
 2度のミドルパスで敵陣に侵入。  
 エース#34廣長(4年生)のランプレーを止めにくる  
 早稲田守備対し#1桑村(3年生)への難しいパスを連続で成功  
 させ相手陣に攻め込む！

ここも#K4近藤(4年生)の  
 41ヤードFGで13-0とリードを広げる。

その後お互いパントの応酬となるが、早稲田のパントリターンは  
 自陣30ヤードまでリターンされてしまう。

前半残り2分。早稲田は得点パターンが多いスクリーンパスを  
 決め、そのままタッチダウン。 13-7とし前半終了。

昨シーズンはケガで出場機会が少なかった  
 #13QB水木(3年生)だが、覚醒した鋭いパスと  
 OL陣のプロテクションの強さ、  
 そしてLB陣の強烈なタックルが光った前半だった。





### 3Q

後半オフェンススタートの明治大学。

後半に入ると両チーム守備が奮闘しパントの応酬が続く。

早稲田は後半から4年QB18八木を投入すると、ランで前進をされ3ダウンショートでフェイクパスを見事に決められそのままタッチダウンを許し13-13。

TFPキックを外した為、同点で最終4Qへ。



### 4Q-1

#83田村(3年生)の技ありパントで相手陣10ヤードまで蹴り込むも、ここから早稲田の粘り強い攻撃が始まる。

試合開始から鋭い集まりを見せていたディフェンス陣だが早稲田の泥臭いランプレーがジリジリと止まらなくなりそのまま90yをドライブされタッチダウン。

13-20と逆転されてしまう。

追いつきたい明治攻撃だが、ここで痛恨のインターセプト・・・。

自陣で早稲田に攻撃権を与えてしまう。





#### 4Q-2

早稲田はランプレーで時間を使いながらゴール前まで前進。しかし2分を切ったところで、早稲田がスナップミスからファンブルし明治がこれをリカバー。残り1分39秒、自陣深くからではあるが明治最後の攻撃が始まる。

まずは、#3後藤(1年生)へのミドルパスでファーストダウンを更新すると#39廣長(4年生)へのパス、#13水木(3年生)のスクランブルでサイドラインをしっかりと割り時間を止めながら攻撃を続けるも、4ダウンショートが残ってしまい明治は迷わずギャンブルを選択する。ここで左サイドライン際を走り抜けた#11加藤(4年生)に見事なロングパスをヒットさせ、そのまま加速しDBを振り切りゴール前2ヤードまで前進するビッグプレーが飛び出す!!!  
 そして残り50秒でエース#39廣長(4年生)が走り抜けタッチダウン!!! 19-20。  
 ここで同点ではなく逆転勝利を狙う明治はキックではなくプレーを選択。  
 #13水木(3年生)から放たれた鋭いパスは相手ディフェンスにはじかれ、インターセプト。  
 果敢に攻めたが2ポイント失敗となりこのまま19-20でゲームセット。

初スタメンのQB#13水木(3年生)の気持ちの入ったパス攻撃が明治攻撃を支える見ごたえのある試合となった。

負けはしたものの、逆転を狙った最後のシリーズに明治観客席は大いに沸いていた。







明治大学アメリカンフットボール

GRIFFINS



2024年度6月号-1-5

明治大学体育会アメリカンフットボール部グリフィンス父母会

### ◆早稲田大戦を振り返って

早稲田戦にて、幹部を中心に選手、学生スタッフ、コーチ陣にインタビューを実施しコメントを頂きました。  
ご協力頂きました皆様、誠にありがとうございました。

#### ◆インタビュー #6 主将 深尾 (LB)



##### ■早稲田大学と対戦した印象。

ディフェンスだと隙のないチームで戦いづらかった印象を感じました。

##### ■試合での、良かったところ。

特に、ありませんでした。

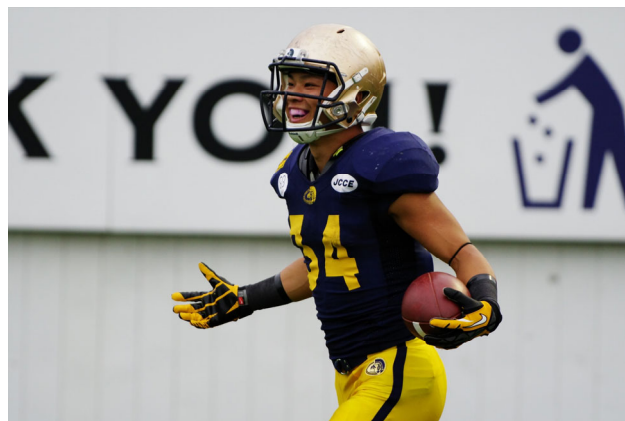
##### ■試合での、悪かったところ。

最後の最後まで勝負にこだわりきれず、また自分たちでリズムを作れなかったところです。

##### ■6月16日桜美林戦への意気込み。

どの場面でも自分たちのフットボールに集中して必ず勝ち切ります。

#### ◆インタビュー #34 副将 廣長 (RB)



##### ■早稲田大学と対戦した印象。

今年の早稲田はメンツも揃っていて、波に乗らせると止められない相手だったので、グリフィンスの足りない部分を多く気付かされた試合でした。

##### ■試合での、良かったところ。

躊躇することなく、自分たちのリズムでプレーすることができたところです。  
また、苦手な2ミニッツでTDにまで繋げたところです。

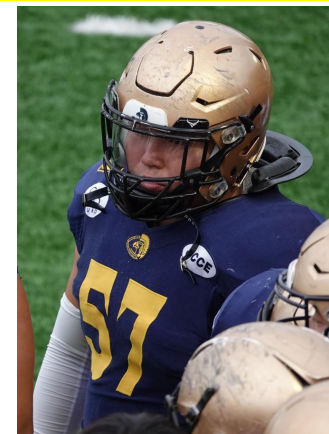
##### ■試合での、悪かったところ。

イエローが多く出て、大事な場面で自滅して失点に繋がってしまったところと、フィニッシュの弱さを感じました。

##### ■6月16日桜美林戦への意気込み。

TOP8上がってきて春終盤ということで、力もつけてきていると思います。常に自分たちのやってきたことをぶつけて行けただけだと思います。応援よろしくお願いいたします。

#### ◆インタビュー #57 副将 宮本 (OL)



##### ■早稲田大学と対戦した印象。

外から見ていたのですが、やはり関東で1番強いディフェンスだと感じました。

##### ■試合での、良かったところ。

ランでタッチダウン出来たことと、最後まで試合展開が分からなかったところです。

##### ■試合での、悪かったところ。

終盤は相手にアジャストされて、早稲田の流れに持って行かれたところです。

##### ■6月16日桜美林戦への意気込み。

久々に僕も試合に出るので、今まで溜めていた力を発揮したいと思います。





明治大学アメリカンフットボール

GRIFFINS



2024年度6月号-1-6

明治大学体育会アメリカンフットボール部グリフィンス父母会

◆インタビュー #11 加藤(4年生)(WR)



■早稲田大学と対戦した印象。

気があってフィニッシュに対してこだわりを持つチームだなと感じました。プレーに対する気持ちの入れ方は習うべき部分もあったと思います。

■試合での、良かったところ。

パスユニットとしての精度が上がってきたと実感できたことです。

■試合での、悪かったところ。

昨年少なかったフォールスなど自滅が増えてしまったことです。自分の日々生まれる少しの甘さが一点差で勝ちきれない部分に現れてしまったと感じています。

■6月16日桜美林戦への意気込み。

全て圧倒して勝ちます。暑い中での試合になるとは思いますが、応援よろしくお願ひ致します。

◆インタビュー #91 主務 山下(4年生)(DL)



■早稲田大学と対戦した印象。

ファンダメンタルの差を大きく感じる試合でした。例年通り早稲田の選手は当たり慣れていて、経験の浅い明治の選手は圧倒されていた印象です。フィジカルに頼らず勝負している早稲田はやはり強いと感じました。

■試合での、良かったところ。

オフェンスにかなり助けられた試合だった点だと思います。ディフェンスは3本も取られてしまったが、今試合のオフェンスはピンチをチャンスに繋げる機会を作ってくれてました。QB水木も復帰明けとはいえ、自分のポテンシャルを発揮していたと思います。

■試合での、悪かったところ。

ディフェンスに関して、全ポジション平たくやられていました。今試合は「ディフェンスユニット」として敗因を作ってしまったと思います。早稲田オフェンスのプレイはシンプルであり、同じプレイを何度も通してしまっている部分が悪かった点です。アジャスト以前にファンダメンタルで負けていたと思います。

■6月16日桜美林戦への意気込み。

春シーズンこれ以上黒星となるためにはいけない為、早稲田戦での反省を1週間で詰めることが必要となるとは思います。個人的には今試合で少し感覚を取り戻せたので、桜美林相手には圧倒し、秋に向けて、アサイメントを壊せるプレイヤーとなるためのイメージを固めたいです。

◆インタビュー #9 守屋(4年生)(DL)



■早稲田大学と対戦した印象。

グリフィンスの弱い部分を確実に攻めて来た印象でした。

■試合での、良かったところ。

ディフェンスで3回ボールゲットできた事です。練習で意識的に取り組んで来た事が試合で発揮できてよかったと思います。

■試合での、悪かったところ。

個人として反省が多く残る試合でした。一対一やプレーリアクションで自分の甘さが露骨に出てしまいました。死ぬ程練習します。

■6月16日桜美林戦への意気込み。

チーム全体として完成度の高い試合ができるように、しっかりと準備したいと思います。





明治大学アメリカンフットボール

GRIFINS



2024年度6月号-1-7

明治大学体育会アメリカンフットボール部グリフィンス父母会

◆インタビュー #32 石井(4年生)(LB)



■早稲田大学と対戦した印象。

昨年戦った時より基礎をしっかり突き詰めているなという印象でした。

■試合での、良かったところ。

LBの試合目標でもあった全力パシュートを体現出来たところです。

■試合での、悪かったところ。

流れが相手にいってしまったときに止められずディフェンスを立て直すことが出来なかったところです。

■6月16日桜美林戦への意気込み。

秋にも戦う相手なので圧勝して内容に拘る試合にします。

◆インタビュー #13 水木(3年生)(QB)



■早稲田大学と対戦した印象。

ディフェンスの寄りの速さやスピード感など、個々の能力の高さはもちろん感じましたが、アジャストが非常に早くそれぞれの役割の徹底力が高い印象でした。結果的に後半はO、Dともに苦しめられる展開になり、最後に点を取りきることが出来ませんでした。オフェンスとしても春シーズンのここまで3試合を通して出た課題に対して取り組んできたことを試す良い機会だったと思います。

■試合での、良かったところ。

個人的には試合を通してディフェンスは良く見えていたと思います。特に最初のシリーズから前半を通して、コンスタントにパスを通しながらFGに繋げるなどして得点することが出来た点に関しては、昨年からスロースタートがオフェンスの課題だったので改善されてきて良かったと思います。また、最後に逆転された後、追い詰められた状態からロングパスでTDまで持っていけたことは自信に繋がりました。

■試合での、悪かったところ。

個人的には試合の終盤で致命的なインターセプトを喫した点は最も悔やまれる部分だと感じます。また、まだまだ細かいミスが目立つので練習から減らせるように意識したいと思います。オフェンスとしては相手ディフェンスにアジャストされ始めてからアジャストし返すのが遅れたような印象だったので、チーム内でのコミュニケーションを増やして後半失速しないオフェンスを目指したいと思いました。

■6月16日桜美林戦への意気込み。

春シーズンを通して出た課題をもう一度見直し、勝利することだけでなく内容にもこだわった試合にしたいと思います。応援の程、よろしくお願い致します。



◆インタビュー #70 高橋(3年生)(OL)



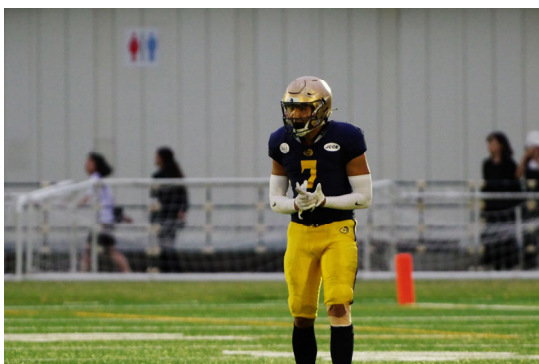
■早稲田大学と対戦した印象。  
ディフェンス全員の集まりが徹底されていてフィニッシュがどのチームより強烈でした。

■試合での、良かったところ。  
後半につれて相手にアジャストすることができました。

■試合での、悪かったところ。  
逆に前半は対面に一対一で負ける場面が多かったです。また相手のシステムを理解して対応し始めるのが遅かったところだと思います。

■6月16日桜美林戦への意気込み。  
今回の試合で自分自身の課題が多く見つけたのでそれを改善し一対一で圧倒します。

◆インタビュー #7 天野(3年生) (DB)



■早稲田大学と対戦した印象。  
明治以上にやり切りが徹底されており、非常にやりずかったです。また、後半からのアジャスト力が高く弱点をひたすら突いてきてそこもやりづらさを感じました。

■試合での、良かったところ。  
スカウティングが生きたプレーがあったところです。

■試合での、悪かったところ。  
意識一つで変えられるミスを何度もしてしまったところ です。

■6月16日桜美林戦への意気込み。  
早稲田戦で出た反省を生かしてフィニッシュにこだわったプレーをします。

◆インタビュー #1 桑村(3年生)(WR)



■早稲田大学と対戦した印象。  
個々の能力が高く、抜け目のないチームだなと感じました。

■試合での、良かったところ。  
春シーズン通してターゲットになることが少なかったので今回の試合は自分に飛んでくる場面が多かったことが良かったです。

■試合での、悪かったところ。  
マンツーマンなどDBとの勝負の中で勝率が低かったところや、QBの投げにくいようなルート取りをしてしまったところ です。

■6月16日桜美林戦への意気込み。  
頂いたチャンスを活かしてチームを勝利に導けるように頑張ります。応援よろしくお願いします。

◆インタビュー #77 大木戸(3年生)(OL)



■早稲田大学と対戦した印象。  
ディフェンスの完成度が高く、とにかくフィニッシュにこだわるユニットでした。

■試合での、良かったところ。  
完成度の高いユニットに対して、パスプロを持たせることができたところです。

■試合での、悪かったところ。  
複雑な付き位置に対して、慌ててしまって、コミュニケーションをしっかりと取ることができなかったところ です。

■6月16日桜美林戦への意気込み。  
落ち着いてコミュニケーションをしっかりとって、相手に合わせずにプレーし、しっかりと勝ちきれよう頑張ります。



◆インタビュー 学生トレーナーの皆様

■いつも、試合前に準備など心がけている事を教えてください。

当日テーピングを巻く人、その流れの確認とイメトレは前日から、しっかりしています。試合前から選手が水分をとっているか、いつも通りの体調か、会話の中で確認しています。試合直前は怪我人が出たときの役割分担、緊急時の動線などの再確認を行っています。

■選手たちのケアで、一番大変だったことは、ありましたか？

毎日の些細なコミュニケーションのなかで選手の調子をさり気なくはかることは、大変というより難しいです。トレーナーとして、体調面でも精神面でも選手の様子を常に気にかけています。

■秋シーズン向けの意気込みを！

新1年トレーナーも加わり、秋シーズンではより活動の幅を広げていきます！一人ひとりが成長し、トレーナーがチームの力となれば嬉しいです！

◆インタビュー 櫻井監督

■早稲田大学と対戦した印象。

付属校等でフットボール経験がある学生に、未経験からフットボールスキルを高めた学生が加わった組織的なチームで、例年通りの早稲田さんであるところは今年も変わらず。という印象をもちました。中でも、ディフェンスのキープレイヤーが要所で活躍をし、モメンタムを引き寄せる力は、今年の早稲田さんを象徴するものと認識しています。

■試合での、良かったところ。

序盤、ターンオーバーで得た攻撃権を得点に結びつけた終盤、2ミニッツオフでタッチダウンを取り切れた点になります。試合の入り・フィニッシュを意識しているチームとして、やるべきことをやれたと考えています。そして、一つひとつのプレーにおいて、オフェンスは1ヤードでも前に、ディフェンスはタックルにいきながらボールに絡むプレーをできている部分もあった点です。

■試合での、悪かったところ。

敗戦した場合は常となりますが、不用意なイエローやインターセプトが試合を通して出た点です。今試合においては、随所でここから！という時に、流れを切る形となっていました。この点については、早稲田さんも同様ではありましたが、如何に高い集中力で遂行し続けるか、結果的には1点差での敗戦となりましたが、この1点を一人ひとりがどう考え行動していくか、今一度取り組みなおします。

■6月16日桜美林戦への意気込み。

現在、春季オープン戦1勝3敗（うち、ルーツボウル2敗）であるという立ち位置を認識し、GRIFFINSのフットボール（フェアプレーの精神・基本の徹底）をどれだけ突き詰め、1試合通して遂行し続けるかが重要であると考えます。公共会場では、春最後の試合となりますが、フィールドに立っている人間がGRIFFINSの代表であるという自覚をもち、秋季リーグ戦で東京ドームに於いて戦う相手にしっかりと勝ち切ります。引き続き、ご声援のほど宜しくお願い致します。

◆インタビュー 高橋HC

■早稲田大学と対戦した印象。

春の試合ということもありますが、基礎と個々の強さにフォーカスしている様に感じました。秋に関東で勝ち、関西のチームと闘う上で必要なものが何か、明確な目的意識がありました。

■試合での、良かったところ。

オフェンスでは春の取り組んできたことに対して、一定の成果が見られました。ラン・パスともに、効果的なオフェンスが遂行できたと思います。ディフェンスではファンブルフォースでターンオーバーを起こせたことは、着実にタックリングの課題に対して、結果がついてきていると思います。最後にキッキングですが、特に近藤・田村の両K・Pが軸となり、他の10名の選手がそれぞれの役割を守り、安定したキッキングゲームを遂行できました。

■試合での、悪かったところ。

全体的で申し上げるとすると、勝ち切る力・取り切る力が早稲田大学の方があったと感じます。最初は本学が優位にゲームを進めることが出来たものの、ミスから大きく流れが変わりました。12分×4Qのゲームの中で、集中力を切らさぬことより、毎プレーやり切る力を養う必要があると思います。

■6月16日桜美林戦への意気込み。

毎試合力強いご声援と日頃から沢山ご支援頂き、有難う御座います。秋も対戦する桜美林大学戦となりますが、チームとして経験値高めることが出来る試合にしたいと思います。夏はフットボールに思う存分浸かれる期間ですので、夏に向けていい課題を積極的に取りに行き、チームとして勝ち切った試合になるよう努めますので、引き続きのご声援を宜しくお願い致します。





明治大学アメリカンフットボール

GRIFFINS



2024年度6月号-1-10

明治大学体育会アメリカンフットボール部グリフィンス父母会

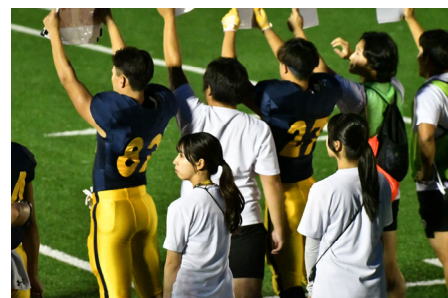
◆Photo

父母会にて、試合風景を撮影しております。

今回の撮影は近藤さん、加藤さん、高橋さん、桑村さん、石川さん、佐尾山さん、島田さん、岩崎さん、鈴木さんの9名の方々にいただきました。皆様、本当にお疲れ様でした！















## ■次戦

2024年6月16日(日) 14:00 アミノバイタルフィールドで桜美林大学との対戦です。桜美林大学は昨年のBIG8でTOP通過、1年ぶりのTOP8にCome Backしました。過去の対戦では、**GRIFFINS**は有利に試合を進めている。今回のルーツボウルでは、2戦共に1点差の敗退とした**GRIFFINS**だが**NEW GRIFFINS**は、着々と次のステップを踏んでおります。強豪校と対戦し経験を重ねた、オフェンス陣・ディフェンス陣共に秋季リーグ戦に向けて、更なる飛躍となる物を確実に収穫する事が出来ました。

今春、アミノバイタルフィールドでの最後の試合を、熱いご声援で**GRIFFINS**を勝利へと導きましょう！ **Go ! GRIFFINS.**